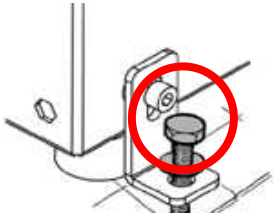
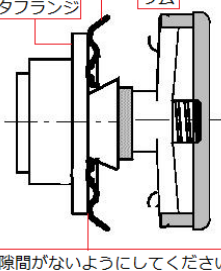
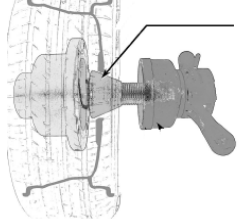
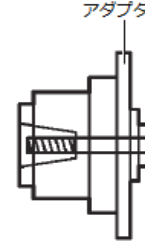
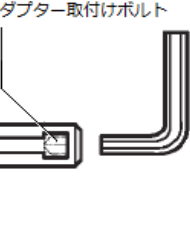
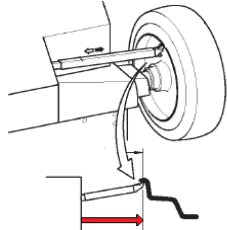
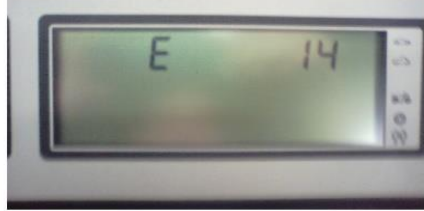


ホイール balanser が **起動しない**

症 状	原 因	対 応 方 法	参 考 図 (写 真)
電源を入れても何も点灯しない	1次側電源が来ていない。	メインスイッチ、一次電源の確認 (ブレーカー、ヒューズなど含む)	1次側ブレーカースイッチ例  ヒューズボックス  バランサーメインスイッチ  ※スイッチの位置は機種によって異なります。
	内部電子部品・配線の不良	販売会社へご相談ください	
表示画面が起動しない	プログラムの起動不良で画面がフリーズ	電源を切り、電源ケーブルを元から外し、20秒程度経過後に再度電源をつなぎ再起動	
	起動チェックで不具合を感知しエラーを表示	取扱説明書を読みエラーの原因を取除いて再起動 ※取扱説明書に記載のないエラーが表示された場合は販売会社へご相談ください	エラーコード表示例(モニター機) 

故障かな?と思ったら

症 状	原 因	対 応 方 法	参 考 図 (写 真)
精度不良	balanser本体が振動している	アンカーボルトの増し締め 振動要因(リフトやトラックの走行等)を取除く	
	ホイールが確実にクランプされていない。	リムのハブ面をアダプタのフランジ面に隙間なくクランプする ハブ穴の径・シャフト径に合ったコーンを選定する	アダプタフランジ  リム  ※コーンのテーパ部分が リムのハブ面に吻合すること ※コーンの穴径＝シャフト径 この隙間がないようにしてください
	アダプターの損傷・汚れ・取付け状態	アダプター・コーン類の清掃 アダプター・コーン類に傷、凹み等ある場合は交換 アダプター取付ボルトの増し締め	balanserシャフト  アダプター  アダプター取付けボルト 
	入力リムデータ(ゲージアーム)の不良 ※許容範囲:リム径・リム幅±1インチ ディスタンス±5mm	取扱い説明書記載のゲージアーム校正の実施 ※お客様にて校正ができない機種については販売会社へご相談ください	※リム径・リム幅はリムの公称値、 ディスタンスは右図のように balanser筐体内側からリムフランジ (ウェイト取付位置)までの距離です。 
	balanser・シャフト校正データ等がずれた・消えた ※許容値14～15インチ程度の鉄ホイールで100g ウェイトを測定した時に100g±5g	取扱い説明書記載のユーザーキャリブレーション(精度校正)の実施 ※上記で問題が解決できない場合は販売会社へご相談ください	
エラーが表示される	ゲージがホームポジションにない・ホイールが確実にクランプされていないなどの取扱い不良	取扱説明書を読みエラーの原因を取除く ※取扱説明書に記載のないエラーが表示された場合は販売会社へご相談ください	エラーコード表示例 
	内部電子部品・配線の不良	販売会社へご相談ください	

エラー画面が出た場合は、写真を撮っていただくようお願いいたします。

エラー画面など、写真に撮っていただくと、調査しやすくなる場合があります。

<ユーザーキャリブレーション(精度校正)>

タイヤ交換シーズン前にはユーザーキャリブレーション(精度校正)を実施してください。

※ユーザーキャリブレーション(精度校正)は1ヶ月に1度程度の実施を推奨します。

<日常点検のすすめ>

取扱説明書に点検箇所の項目がある場合は、そちらも確認をお願いいたします。

日常点検は、ご使用いただいている機器の状態や消耗を知ることにより、急なトラブルを防ぐことができます。

損傷箇所を発見された場合は、販売店へご相談ください。